



直近入隊者による母校訪問

埼玉地方協力本部朝霞地域事務所（所長 澤谷3陸佐）は、十一月十九日、埼玉県立吉川美南高等学校において、株式会社ライセンスアカデミーが企画実施した第二学年生への進路ガイダンス（就職希望者）に担当広報官（本橋2陸曹）と当該高校出身の高橋かず2陸士（令和三年四月入隊、現東シ通群）の支援を受けて参加した。

本ガイダンスには、企業等八社が説明ブースを展開し、卒業時に就職等を考えている生徒に対して、各種の説明を行った。埼玉地本は、約七か月前に入隊したOGの高橋2陸士の経験等を含めて、自衛隊の魅力・やりがいや各種の採用区分・特性等について生徒目線で説明した。

特に、高橋2陸士は母校後輩への説明であり、当時の本人の状況や入隊後の成長等を織り交ぜ、丁寧かつ具体的に説明し、共感を得ていたのが印象的であった。今回のようなリクルーター派遣は非常に有意義であることを認識した。

埼玉地本は、今後も可能な限り、効果的な施策等を検討・調整・実行して、募集基盤の醸成・情報等の獲得につなげられるよう取り組んでいきたい。



KTCおおぞら高等学院での授業を実施

埼玉地方協力本部人間地域事務所（所長村上2空尉）は十一月二十四日（水）、川越市のKTCおおぞら高等学院において「みらいの架け橋レッスン」というテーマの授業を行った。

本授業は、総合学習の一環であり、将来の進路について生徒が考えるもので同校からの依頼をうけ実施した。

当日は所長以下陸海空各広報官が参加して、自衛隊の全般説明を実施。続いて、自衛隊を身近に感じてもらうために防弾チョッキ・制服といった装具の試着や南極の氷に触れてもらうなどの体験を提供した。

参加者からは「実現したい将来像の為に自衛隊という道もあるかなと思った」といった声が聞かれた。

入間所長は「この機会を通じて授業の目的でもあるなりたい大人になるための選択肢の一つに自衛官という道を示すことができた。」と振り返った。

埼玉地本では、今後も各学校を訪問し、説明会等を通じて学校との信頼関係をより強く構築して志願者の獲得につなげていくとしている。

